

前根(三月七日労働第一。六。節)後 結束納付し争議引込シカ
 敗ノ原因ナリト豫想シ三月廿三日和最後的ノ示談運動ヲ敢行
 シ三名ノ拘留者ヲ出シ望ニ二十三日午前ヨリ在常断産越ニ立
 争議団員妻科 廣方ニ放テ究末全屈辱書方働同人石馬憲一及
 争議団代表安平康一外同和秘密裡ニ命人解決案ニ和々協議
 アリ

交渉状況

争議因ニ於テハ 前四交代ノ 要求額四千七百二十五円ヲ二千六
 百二十円ニ引下ケ最後の陳黄案ナリトシ 前記代表等ハ在常断
 ニ在頭補序方ヲ甲出シタルヲ以テ 同署ハ 社長ノ 出頭ヲ拒メ
 者ヲ折衝セシメタルニ多少ノ曲折ヲ見タルニ 遂ニ 解記 覺書通
 二三月廿五日 田崎解決マルカ 覺書ニ依レハ 支給金額ハ一千八百
 円ナルニ 此ノ外ニ 金封封六百円ヲ支給スルヲ以テ 支給金ノ合計
 ハ二千四百円トナル

以上

(別記)

覺書

乃由ニ 株式会社日本メタリコン 工業株式会社 従業員ノ 労働争議ハ 双方互
 譲ニ依リ 妥協案件ヲ以テ 田崎解決セルヲ以テ 茲ニ 覚書ニ 通シテ
 製造者及 双方及 主全人 各一週 形勢之ルモノトス

記

- 一 解雇者ハ 九名タルト 但シ 人選ハ 社長一任トスルニト
- 二 会社ハ 解雇者 筆次中ノ 日給(二月二十六日以後) 筆次 費用等
 一切ヲ 包合シ 金一千八百圓ヲ 支給セラルト
- 三 会社ハ 日給一円以下ノ 職工ト 結ビ 四月一ヨリ 一円迄引上タルト
 此ノ 如クハ 要領 妥協ニ 結ビ 会社ノ 量産 状態ニ 可成トナリタル 場合
 是ノ 旨 実施スルニト

昭和六年三月二十五日

株式会社日本メタリコン工業所社長 江沢謙二郎